

# 2024年3月期第2四半期 決算説明資料

---

2023年11月28日

文化シヤッター株式会社

# 目次

## P1 2024年3月期第2四半期の実績について

P2 業績

P3 売上高および営業利益の増減要因

P4 セグメント別 売上高および営業利益

P5 売上高の用途別セグメント別分析

## P6 2024年3月期の見通しについて

P7 業績見通し

P8 売上高および営業利益の増減要因

P9 セグメント別受注状況

## P10 中期経営計画の進捗状況について

P11 主要経営指標

P12 BxVAツリー図

P13 株主還元政策および設備投資

P14 基幹事業の収益力強化

P15 注力事業の売上拡大①

P16 注力事業の売上拡大②

P17 注力事業の売上拡大③

～SPRINT ROLLER SHUTTERS PTY LTD概要

## P18 トピックス

P19 ①ESG経営 SDGsへの取り組み

P20 ②格付取得および新商品紹介

P21 ③地球環境の負荷を低減する取り組み

## P22 参考資料

P23 文化シャッターグループ概要

P24 文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開

P25 連結貸借対照表

P26 連結キャッシュフロー計算書

P27 政策保有株式について

P28 事業環境

P29 脱炭素活動の推進

P30 シャッター関連製品の状況（単体）  
（重量シャッター、軽量シャッター、窓シャッター）

P31 建材関連製品の状況（単体）  
（ドア、パーティション、エクステリア）

# 2024年3月期第2四半期の実績について

(単位:百万円)

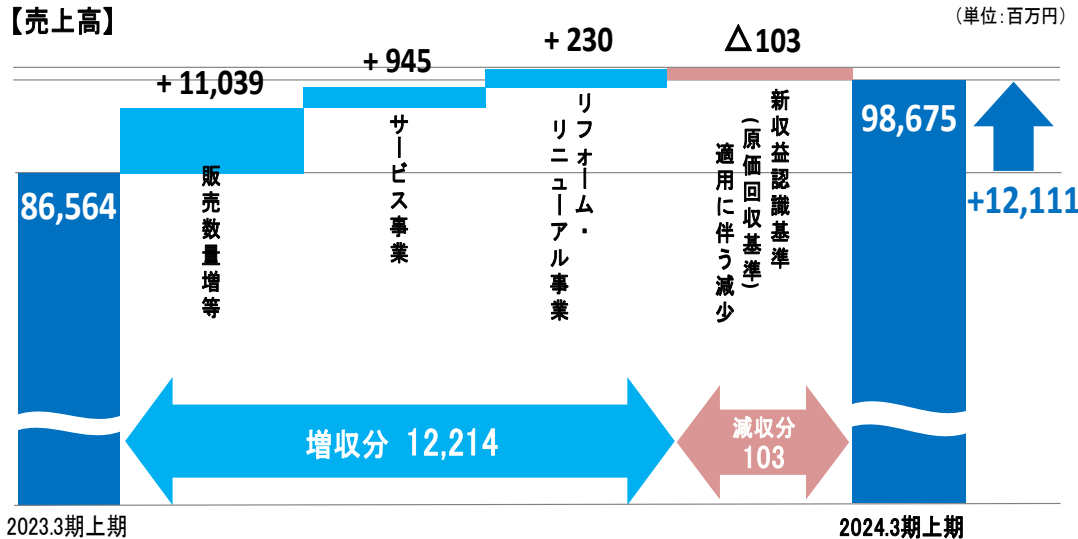
	2023年3月期上期		2024年3月期上期		
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	86,564	100.0%	<b>98,675</b> ( 93,000 )	100.0%	114.0%
売上原価	64,403	74.4%	<b>72,649</b> ( 70,000 )	73.6%	112.8%
売上総利益	22,160	25.6%	<b>26,025</b> ( 23,000 )	26.4%	117.4%
販売費及び一般管理費	19,576	22.6%	<b>21,682</b> ( 20,800 )	22.0%	110.8%
営業利益	2,584	3.0%	<b>4,342</b> ( 2,200 )	4.4%	168.0%
経常利益	2,781	3.2%	<b>5,021</b> ( 1,800 )	5.1%	180.5%
当期純利益	1,869	2.2%	<b>3,078</b> ( 800 )	3.1%	164.6%
1株当たり配当金	21円		<b>21円</b>		-
設備投資額	1,876		<b>2,461</b>		585
減価償却費	2,093		<b>2,395</b>		302
期末 従業員 (人)	正社員	4,925	<b>5,243</b>		318
	臨時雇用者	1,271	<b>1,232</b>		△ 39
	合計	6,196	<b>6,475</b>		279

( )は期初予想数字

## ポイント説明

- 🔴 期初に公表した業績予想を10月30日に  
上方修正。
- ◆ 「売上高」は、3期連続の「増収」で、  
過去最高の売上。
- ◆ 「営業利益」は、2期連続の「増益」で、  
過去最高の利益。
- ◆ 「1株当たり配当金」は21円。
- ◆ 「設備投資額」約25億円の主な内訳は、
  - ・生産性向上を目的とした生産設備の  
刷新などで約20億円
  - ・働き方改革に伴うシステム関連投資  
などで約5億円

# 売上高および営業利益の増減要因

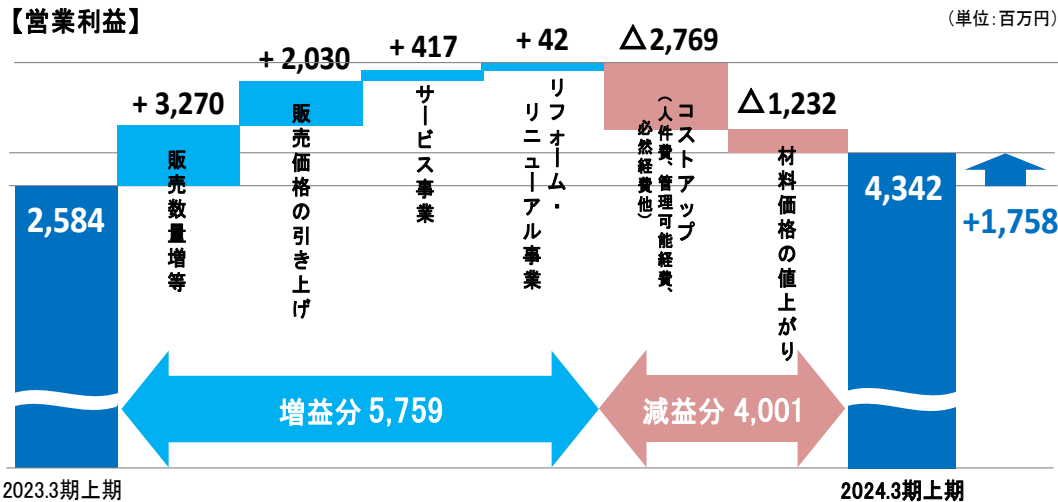


## 「売上高」のポイント説明

主な増収要因は、「販売数量の増加」と「サービス事業」が寄与。

減収要因は、「新収益認識基準適用に伴う減少」が影響。

トータルで121億1,100万円の「増収」。



## 「営業利益」のポイント説明

主な増益要因は、「販売数量の増加」と「販売価格の引き上げ」が寄与。

減益要因は、人件費の増加等に伴う「コストアップ」と「材料価格の値上がり」が影響。

トータルで17億5,800万円の「増益」。

# セグメント別 売上高および営業利益

(単位:百万円)

	2023年3月期上期		2024年3月期上期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	34,597 ( 34,300 )	2,600 ( 2,940 )	<b>41,363</b> ( 38,200 )	<b>3,080</b> ( 2,200 )
伸率	102.7%	110.7%	119.6%	118.5%
増減	918	251	6,765	480
建材関連製品事業	34,226 ( 34,200 )	291 ( 200 )	<b>38,330</b> ( 36,000 )	<b>1,243</b> ( 240 )
伸率	103.3%	355.8%	112.0%	427.1%
増減	1,108	209	4,103	952
サービス事業	12,221 ( 12,300 )	1,690 ( 1,750 )	<b>13,166</b> ( 13,000 )	<b>2,107</b> ( 1,800 )
伸率	105.1%	107.2%	107.7%	124.7%
増減	591	114	945	417
リフォーム事業	2,880 ( 3,200 )	△ 22 ( △40 )	<b>3,110</b> ( 3,000 )	<b>20</b> ( 10 )
伸率	101.3%	-	108.0%	-
増減	38	58	230	42
その他事業	2,637 ( 3,000 )	334 ( 450 )	<b>2,704</b> ( 2,800 )	<b>364</b> ( 350 )
伸率	96.3%	90.3%	102.5%	108.9%
増減	△ 100	△ 35	66	29
配賦不能額	-	2,308 ( 2,200 )	-	2,473 ( 2,400 )
合計	86,564 ( 87,000 )	2,584 ( 3,100 )	<b>98,675</b> ( 93,000 )	<b>4,342</b> ( 2,200 )
伸率	103.0%	114.5%	114.0%	168.0%
増減	2,554	327	12,111	1,758

( )は期初予想数字

## ポイント説明

☞ 全てのセグメントにおいて「増収増益」。

- ◆ 「シャッター関連製品事業」は、工場および大型物流倉庫と商業施設向けの重量シャッターが好調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「建材関連製品事業」は、主に商業施設向けのスチールドアや住宅向けドアが好調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「サービス事業」は、修理対応および保守点検契約が堅調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「リフォーム事業」は、住宅リフォーム事業およびビルリニューアル事業が堅調に推移し、「増収増益」。
- ◆ 「その他事業」は、気候変動への適応に貢献する止水事業が堅調に推移し、「増収増益」。

# 売上高の用途別セグメント別分析

(単位:億円)

製品・事業群	用途	合計	工場・倉庫	商業施設	オフィスビル・公共施設	医療福祉・学校	住宅その他
<b>増収額</b>		<b>121.1</b>	<b>37.3</b>	<b>13.7</b>	<b>2.6</b>	<b>2.3</b>	<b>65.2</b>
<b>売上高</b>		<b>986.7</b>	<b>247.2</b>	<b>62.0</b>	<b>106.8</b>	<b>68.6</b>	<b>502.1</b>
<b>シャッター関連製品事業計</b>	増収額	<b>67.7</b>	<b>21.4</b>	<b>8.4</b>	<b>△ 3.8</b>	<b>△ 0.3</b>	<b>42.0</b>
	売上高	<b>413.6</b>	<b>156.5</b>	<b>26.4</b>	<b>22.4</b>	<b>8.3</b>	<b>200.0</b>
軽量シャッター群	増収額	5.6	2.0	0.9	△ 1.1	0.1	3.7
	売上高	93.6	35.8	6.1	5.1	1.2	45.4
重量シャッター群(※)	増収額	<b>50.3</b>	<b>15.1</b>	<b>6.0</b>	<b>△ 3.6</b>	<b>△ 0.4</b>	<b>33.2</b>
	売上高	246.6	99.2	14.7	12.1	4.2	116.4
窓シャッター群	増収額	2.1	-	-	-	-	2.1
	売上高	29.6	-	-	-	-	29.6
シャッター関連群	増収額	9.7	4.3	1.5	0.9	0.0	3.0
	売上高	43.8	21.5	5.6	5.2	2.9	8.6
<b>建材関連製品事業計</b>	増収額	<b>41.0</b>	<b>13.8</b>	<b>4.9</b>	<b>3.2</b>	<b>1.4</b>	<b>17.7</b>
	売上高	<b>383.3</b>	<b>52.0</b>	<b>18.3</b>	<b>45.0</b>	<b>45.2</b>	<b>222.8</b>
エクステリア群	増収額	3.0	-	-	-	-	3.0
	売上高	43.9	-	-	-	-	43.9
ドア・パーティション群	増収額	33.9	13.8	4.9	3.2	1.4	10.6
	売上高	226.3	52.0	18.3	45.0	45.2	65.8
その他建材製品群	増収額	4.1	-	-	-	-	4.1
	売上高	113.1	-	-	-	-	113.1
<b>サービス事業計</b>	増収額	<b>9.5</b>	<b>0.9</b>	<b>0.4</b>	<b>3.4</b>	<b>1.7</b>	<b>3.1</b>
	売上高	131.7	32.4	13.8	34.0	13.7	37.8
<b>リフォーム事業計</b>	増収額	<b>2.3</b>	-	-	-	-	<b>2.3</b>
	売上高	31.1	-	-	-	-	31.1
<b>その他事業計</b>	増収額	<b>0.6</b>	<b>1.2</b>	<b>0.0</b>	<b>△ 0.2</b>	<b>△ 0.5</b>	<b>0.1</b>
	売上高	27.0	6.3	3.5	5.4	1.4	10.4

※シャッター関連製品事業の「重量シャッター群」は、オーバースライディングドア、高速シートシャッターを含む

## ポイント説明

- ➡ 非住宅向けは、「工場・倉庫」と「商業施設向け」が牽引。
- ◆ 「工場・倉庫」向けは、シャッターおよび建材関連製品事業が増加したことにより、37億3,000万円の「増収」。
- ◆ 「商業施設」向けは、シャッターおよび建材関連製品事業が増加したことにより、13億7,000万円の「増収」。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設」向けは、建材関連製品事業およびサービス事業が増加したことにより、2億6,000万円の「増収」。
- ◆ 「医療福祉・学校」向けは、建材関連製品事業およびサービス事業が増加したことにより、2億3,000万円の「増収」。
- ◆ 「住宅その他」向けは、主に海外で展開するシャッター事業と、国内においてはドアと住宅向け建材が増加したことにより、65億2,000万円の「増収」。

# 2024年3月期の見通しについて

---



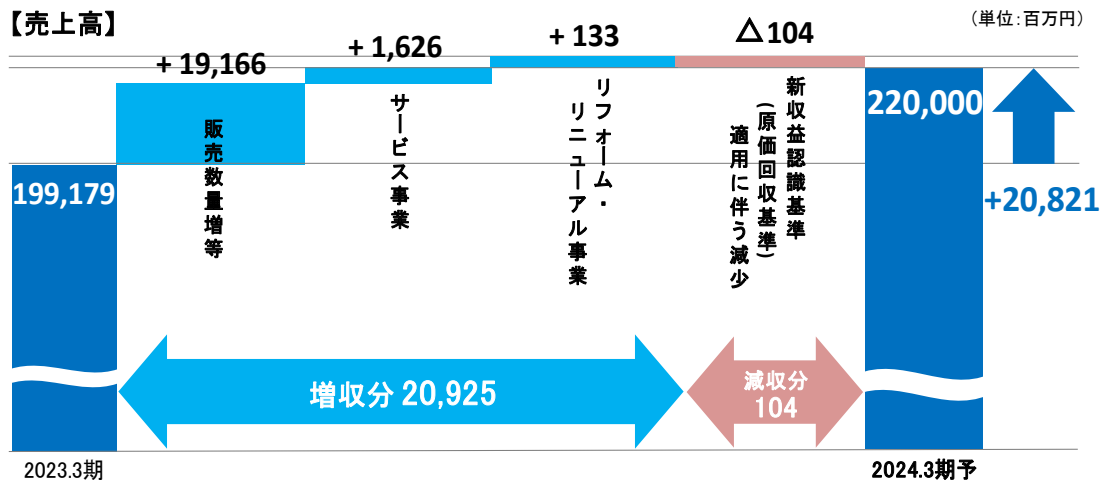
(単位:百万円)

	2023年3月期		2024年3月期				
	通期実績	売上比	通期予想		売上比	前期比	
			期初予想	11月予想		伸率	増減
売上高	199,179	100.0%	211,000	220,000	100.0%	110.5%	20,821
売上原価	149,109	74.9%	157,800	162,200	73.7%	108.8%	13,091
売上総利益	50,070	25.1%	53,200	57,800	26.3%	115.4%	7,730
販売費及び一般管理費	40,385	20.2%	42,500	44,800	20.4%	110.9%	4,415
営業利益	9,685	4.9%	10,700	13,000	5.9%	134.2%	3,315
経常利益	9,992	5.0%	10,800	14,200	6.4%	142.1%	4,208
当期純利益	7,899	4.0%	7,000	9,100	4.1%	115.2%	1,201
1株当たり配当金	42円		42円	42円		-	-
設備投資額	4,729		5,000	5,200		-	471
減価償却費	4,434		5,000	5,200		-	766
期末従業員(人)	正社員	4,958	5,200	5,280		-	322
	臨時雇用者	1,231	1,220	1,220		-	△11
	合計	6,189	6,420	6,500		-	311

## ポイント説明

- 👉 期初に公表した業績予想を11月7日に上方修正。
- 👉 9月末の受注残高は過去にない高水準で推移。
- ◆ 「売上高」は前期比10.5%増の2,200億円、「営業利益」は前期比34.2%増の130億円を予想。
- ◆ 「1株当たり配当金」は上期21円、下期21円、通期42円を予定。
- ◆ 「設備投資額」52億円の主な内訳は、
  - ・生産性向上を目的とした生産設備の刷新などで38億円
  - ・働き方改革に伴うシステム関連投資などで14億円

# 売上高および営業利益の増減要因

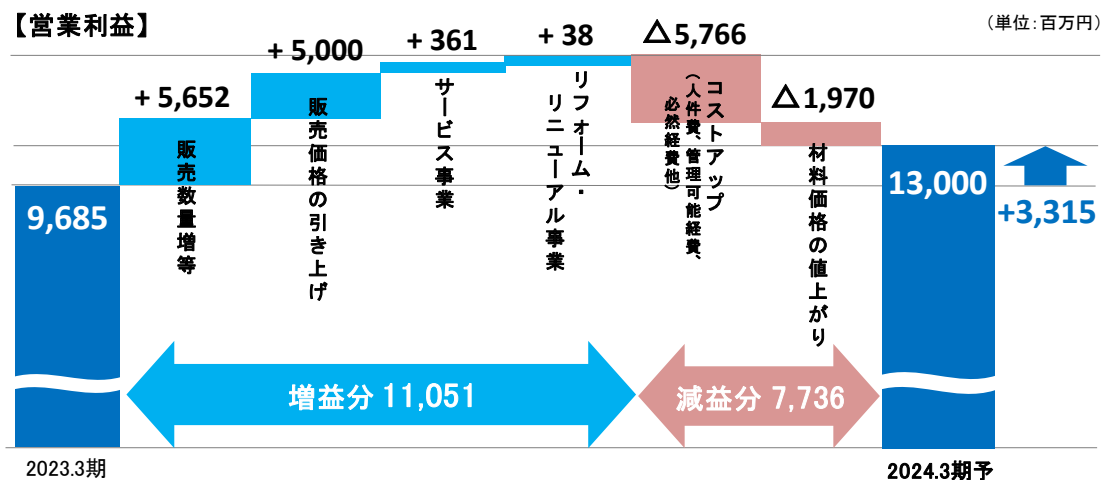


## 「売上高」のポイント説明

主な増収要因は、「販売数量の増加」と「サービス事業」が寄与。

減収要因は、「新収益認識基準適用に伴う減少」が影響。

トータルで208億2,100万円の「増収」を見込む。



## 「営業利益」のポイント説明

主な増益要因は、「販売数量の増加」と「販売価格の引き上げ」が寄与。

減益要因は、人件費等の増加に伴う「コストアップ」、「材料価格の値上がり」が影響。

トータルで33億1,500万円の「増益」を見込む。

# セグメント別受注状況

(単位:百万円)

	2023年3月期						2024年3月期					
	上期実績	伸率	増減	通期実績	伸率	増減	上期実績	伸率	増減	通期予想	伸率	増減
<b>【売上高】</b>												
シャッター関連事業	34,597	102.7%	918	78,891	112.7%	8,872	41,363	119.6%	6,765	91,200	115.6%	12,309
建材関連事業	34,226	103.3%	1,108	80,481	107.5%	5,606	38,330	112.0%	4,103	87,200	108.3%	6,719
サービス事業	12,221	105.1%	591	26,774	106.3%	1,595	13,166	107.7%	945	28,400	106.1%	1,626
リフォーム事業	2,880	101.3%	38	6,367	111.1%	633	3,110	108.0%	230	6,500	102.1%	133
その他事業	2,637	96.3%	△ 100	6,665	102.4%	158	2,704	102.5%	66	6,700	100.5%	35
合計	86,564	103.0%	2,554	199,179	109.3%	16,866	98,675	114.0%	12,111	220,000	110.5%	20,821

<b>【営業利益】</b>												
シャッター関連事業	2,600	110.7%	251	6,233	93.2%	△ 453	3,080	118.5%	480	8,000	128.3%	1,767
建材関連事業	291	355.8%	209	2,645	151.8%	902	1,243	427.1%	952	4,000	151.2%	1,355
サービス事業	1,690	107.2%	114	4,539	112.4%	499	2,107	124.7%	417	4,900	107.9%	361
リフォーム事業	△ 22	-	58	62	-	197	20	-	42	100	161.0%	38
その他事業	334	90.3%	△ 35	940	103.8%	34	364	108.9%	29	1,000	106.4%	60
配賦不能額	2,308	113.2%	269	4,734	114.5%	600	2,473	107.1%	165	5,000	105.6%	266
合計	2,584	114.5%	327	9,685	106.4%	580	4,342	168.0%	1,758	13,000	134.2%	3,315

<b>【受注残高】</b>												
シャッター関連事業	37,707	138.5%	10,476	34,124	113.1%	3,961	37,386	99.1%	△ 321	35,500	104.0%	1,376
建材関連事業	47,637	112.4%	5,266	42,754	114.1%	5,284	52,059	109.3%	4,422	48,000	112.3%	5,246
サービス事業	4,480	118.0%	683	3,762	112.6%	420	5,015	111.9%	535	4,400	117.0%	638
リフォーム事業	1,573	155.3%	560	1,450	198.3%	718	1,145	72.8%	△ 428	1,500	103.4%	50
その他事業	3,485	107.1%	230	3,344	119.9%	555	3,898	111.8%	413	3,900	116.6%	556
合計	94,886	122.2%	17,217	85,435	114.7%	10,941	99,506	104.9%	4,620	93,300	109.2%	7,865

<b>【受注高】</b>												
シャッター関連事業	42,142	112.5%	4,695	82,853	108.0%	6,134	44,625	105.9%	2,483	92,575	111.7%	9,722
建材関連事業	44,395	110.0%	4,021	85,766	111.1%	8,537	47,636	107.3%	3,241	92,445	107.8%	6,679
サービス事業	13,360	108.7%	1,064	27,194	107.1%	1,806	14,419	107.9%	1,059	29,037	106.8%	1,843
リフォーム事業	3,723	117.8%	563	7,086	122.8%	1,317	2,806	75.4%	△ 917	6,549	92.4%	△ 537
その他事業	3,334	95.4%	△ 159	7,220	106.2%	424	3,258	97.7%	△ 76	7,255	100.5%	35
合計	106,956	110.5%	10,183	210,121	109.5%	18,219	112,746	105.4%	5,790	227,864	108.4%	17,743

👉 Point

👉 Point

受注状況は高水準に推移

# 中期経営計画の進捗状況について

---

## ◆経営指標

	2022年3月期実績	2023年3月期実績	2024年3月期中計目標	2024年3月期予測	前期比	計画比
売上高	1,823億円	1,991億円	2,000億円	<b>2,200億円</b>	+208億円	+200億円
営業利益	91億円	96億円	146億円	<b>130億円</b>	+33億円	-16億円
営業利益率	5.0%	4.9%	7.3%	<b>5.9%</b>	+1.0%	-1.4%
ROE	8.0%	9.6%	11.5%	<b>10.0%</b>	+0.4%	-1.5%
ROIC	5.2%	6.8%	10.5%	<b>7.8%</b>	+1.0%	-2.7%
*1 BxVA	-20億円	-5億円	30億円	<b>5億円</b>	+10億円	-25億円
BxVAスプレッド	-2.1%	-0.5%	3.2%	<b>0.5%</b>	+1.0%	-2.7%

DEレシオ	0.19	0.18	0.2以下	<b>0.20</b>	+0.02	-
自己資本比率	48.7%	46.6%	51.9%	<b>49.3%</b>	+2.7%	-2.6%

## ◆投資計画

*2 設備投資	37億円	47億円	-	<b>52億円</b>	+5億円	-
---------	------	------	---	-------------	------	---

## ◆株主還元

配当性向	40.8%	34.5%	35.0%	<b>31.1%</b>	-3.4%	-3.9%
*3 自己株式取得	50億円	70億円	-	<b>0億円</b>	-70億円	-

## ◆資本コスト

WACC	株主資本コスト	負債コスト
7.3%を目処	8.5%を目処	0.7%を目処

\*1 BxVA(Bx Value Added)：投下資本に対する付加価値額を表す

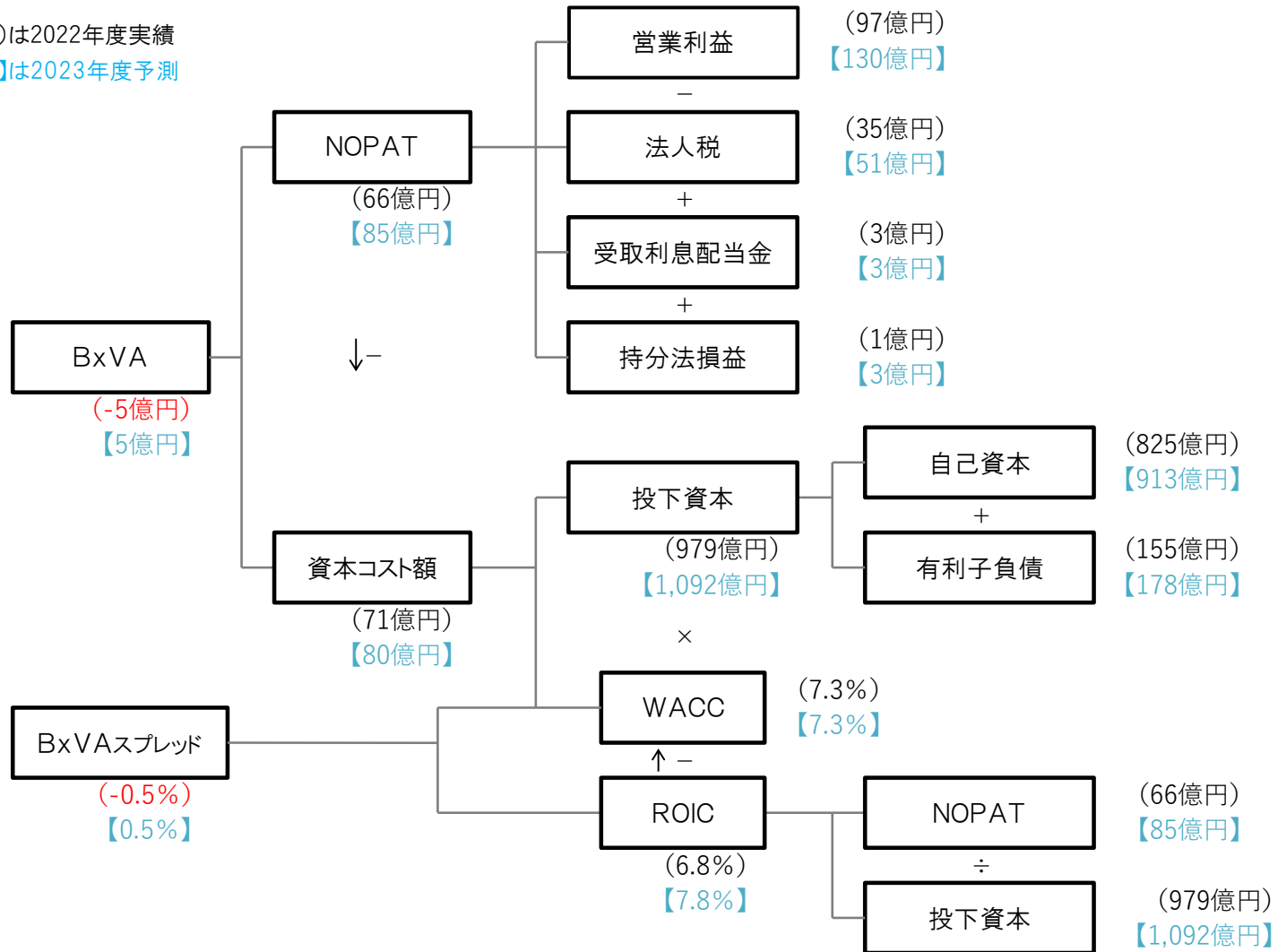
\*2 設備投資：中期経営計画の3年間で120億円を、DX等、生産性向上対策として実施する計画

\*3 自己株式取得：中期経営計画の3年間で100億円+αを計画

## ◆M&A

中期経営計画の3年間で、事業拡大やシナジー効果を見込める成長分野等に150億円を配分をする計画

( )は2022年度実績  
【 】は2023年度予測



## 株主還元政策

### ◆ 配当性向

方針: 配当性向35%を目安とする  
 配当見通し: 1株当たり配当額は中間21円、期末21円、年間42円

### 配当性向の推移

'22.3期	'23.3期	'24.3期 (予想)
40.8%	34.5%	31.1%

### ◆ 自己株式取得

方針: 3年間で100億円+ $\alpha$ を計画  
 実績: 120億円の取得価額で1,089万株の株式取得を完了

## 投資計画

### ◆ 設備投資

方針: 3年間で120億円を計画

### 設備投資額の推移

(単位: 億円)

'22.3期		'23.3期		'24.3期		3年間累計	
上期	通期	上期	通期	上期	通期(予想)	計画	予想
18	37	18	47	25	52	120	136

✓ 2024年上期の設備投資は25億円を実施  
 (内訳) 生産性向上を目的とした生産設備の刷新などで約20億円  
 働き方改革に伴うシステム関連投資で約5億円

✓ 2024年3月期の設備投資は52億円を計画  
 (内訳) 生産性向上を目的とした生産設備の刷新などで約38億円  
 働き方改革に伴うシステム関連投資で約14億円

### ◆ M&A

方針: 事業拡大やシナジー効果を見込める成長分野等に150億円  
 実績: 豪州のMAX DOOR、DOORWORKS、SPRINTと、ニュージーランドの  
 Windsorグループ(BX BUNKA NEW ZEALAND)の4案件で140億円を実行





## ◆シャッター事業

- ✓ 上期は工場・大型物流倉庫、商業施設向け重量シャッターが牽引
- ✓ 工場・大型物流倉庫向けの重量シャッターの拡販およびIoT対応の電動タイプを中心とした高付加価値商品の拡販推進

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	293	117.5%	538	634	108.6%
売上総利益	93	109.8%	195	196	105.4%



## ◆ドア事業

- ✓ 上期は工場・大型物流倉庫向けと住宅向けドアが好調に推移
- ✓ 「接着工法」と「軽量化」による“CO<sub>2</sub>削減”と“働き方改革”に繋がる環境配慮型スチールドア「SGD」の拡販により、脱炭素社会の実現に貢献
- ✓ 生産と物流におけるさらなる効率化

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	195	120.2%	427	462	112.6%
売上総利益	30	124.1%	68	70	122.0%



## ◆パーティション事業

- ✓ 上期は主に大型物流工場・倉庫向けが好調に推移
- ✓ 幅広い用途に対応したトイレブースの拡販とストック市場の掘り起こしによる受注拡大

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	25	109.7%	92	75	109.2%
売上総利益	6	116.9%	19	17	134.7%





## ◆エコ&防災事業

気候変動への緩和と適応による社会への貢献

- ✓ 上期は日除け商品「オーニング」と100%リサイクル素材の再生複合材「テクモク」を中心にエコ事業が牽引
- ✓ 止水商品とソーラー発電システム等、好調な受注状況を背景に「エコ&防災事業」の収益を拡大

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	27	112.8%	82	73	117.9%
売上総利益	9	113.6%	27	24	120.3%



## ◆メンテナンス事業

BXグループ連携による保守点検&修理対応の強化拡充

- ✓ 上期は修理対応と法定点検を含めた保守点検が牽引
- ✓ 顧客との継続した関係強化により修理売上と新規受注の拡大に繋げる
- ✓ 法定点検に伴う是正工事の対応強化

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	156	108.7%	310	336	107.2%
売上総利益	50	115.9%	101	111	110.2%



## ◆ロングライフ事業

住宅リフォーム・ビルリニューアル提案の強化

- ✓ 上期はビルリニューアル事業が牽引
- ✓ 水回りを中心とした住宅リフォームと、耐震・止水をキーワードとしたビルリニューアルの積極提案による受注拡大

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	30	108.0%	83	65	102.1%
売上総利益	8	100.0%	24	17	100.2%



## ◆海外事業

海外事業売上高比率10%に向けた事業拡大の推進

- ✓ 上期(1~6月)は、豪州、ベトナム共に増収増益と好調に推移
- ✓ 4月に豪州のDOORWORKSと5月にニュージーランドのWindsorグループ(BX BUNKA NEW ZEALAND)をグループ化し、オセアニア事業を拡充

(億円)	'24.3期上期		'24.3期		
	実績	伸率	中計	予想	伸率
売上高	102	133.2%	200	245	135.5%
売上総利益	29	160.7%	60	73	173.2%

- ✓ 【オセアニア】
  - ・住宅ガレージドアの売価アップによる収益拡大
  - ・産業・商業向けシャッターの受注拡大
  - ・7月に「SPRINT ROLLER SHUTTERS」をグループ化し、豪州における製造基盤を強化
- ✓ 【ベトナム】
  - ・主力商品の重量シャッター、スチールドアの拡販

住宅向けガレージドア「セクショナルドア」



【海外事業売上高比率】  
 '24.3期予想：11.1%  
 '24.3期上期：10.3%

## ◆SPRINT ROLLER SHUTTERS PTY LTD概要

2023年9月1日にグループ会社のBX BUNKA AUSTRALIAが豪州の産業・商業向けシャッターメーカーSPRINT社の全株式を取得。

SPRINT社は、豪州の南東に位置するビクトリア州メルボルンに製造拠点を有しており、今回のグループ化によって、豪州国内における製造基盤の強化と、主要都市における産業・商業向けシャッターの事業領域の拡大を図る。



本社・工場外観

所在地：オーストラリア  
ビクトリア州メルボルン  
売上高：20百万豪ドル(2023年6月期)  
従業員：24名  
製造拠点：メルボルン

主な取扱商品：産業・商業向けローラードア



# トピックス

---



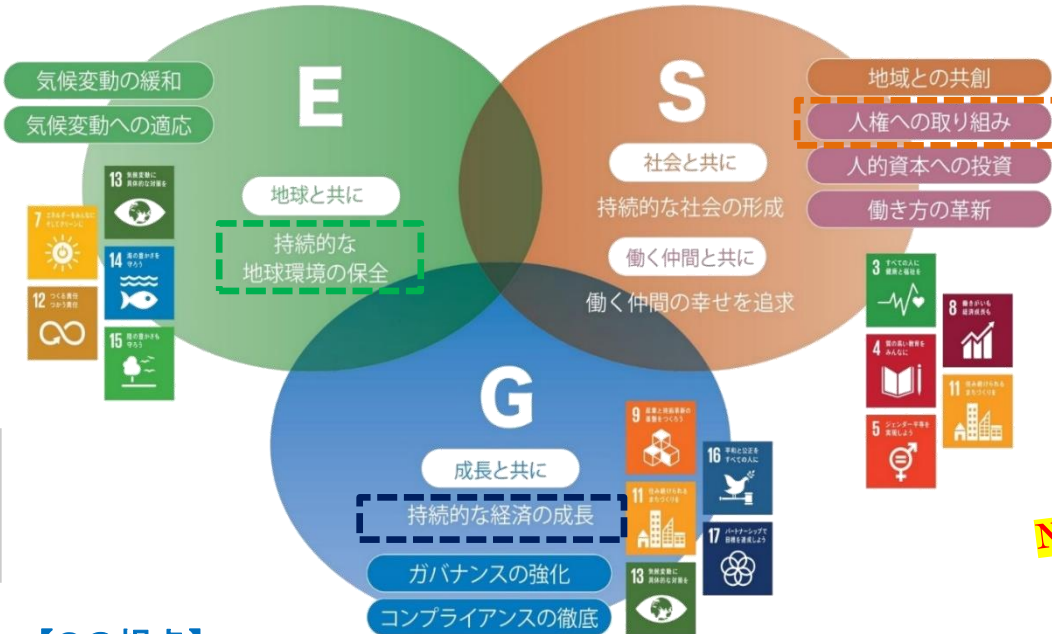
# トピックス① 文化シャッターグループのESG経営 SDGsへの取り組み

文化シャッターグループの活動指針となるCSR4憲章(「成長と共に」「社会と共に」「地球と共に」「働く仲間と共に」)は、ESG視点の経営およびSDGsがめざす姿と理念を共にしています。

## 文化シャッターグループにおけるESG視点の経営

### 【Eの視点】 持続的な地球環境の保全

- ▶ 「BXグループ2050年脱炭素宣言」(2021年5月)
- ▶ 「BXグループ環境ビジョン」を策定(2022年5月)
- ▶ 環境省「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加(2022年8月)



### 【Sの視点】 人権への取り組み

- ▶ 「文化シャッターグループ人権方針」を策定(2022年11月)
- ▶ 「Myじんけん宣言」に賛同(2023年3月)
- ▶ 「人権デュー・ディリジェンス実施ガイドライン」を策定(2023年4月)

### 【Gの視点】 持続的な経済の成長

- ▶ 「パートナーシップ構築宣言」を公表(2023年4月)
- ▶ 「マルチステークホルダー方針」を策定(2023年4月)
- ▶ 「ダイバーシティ&インクルージョンに関する方針」を策定(2023年6月)

## ◆ 格付「A-」を取得

10月11日付けで格付「A-」を取得。  
 当社グループの事業内容および財務の健全性について、第三者機関から客観的な評価を得ることにより、経営の透明性や対外的な信用力を高めるとともに、今後の資金調達が多様化および安定化を図る。

格付機関	格付対象	格付	格付の方向性
格付投資情報センター	発行体格付	A-	安定的

## ◆ IoT対応の窓シャッター「マドマスター・スマートタイプ」に気象警報と連動して自動閉鎖する“安心機能”を追加



7月6日より  
対応開始

### ＜特徴＞

お住まいの地域で気象警報が発令した際、登録したスマートフォンに通知が届き、その後全開状態の電動窓シャッターが自動閉鎖する“安心機能”を搭載



## 地球環境の負荷を低減する課題に対して、 ソリューションを提案していくことが文化シャッターグループの社会的使命

### 遮熱・断熱

～今後の成長に向けた重点キーワード～

#### エコ

再生複合材  
「テクモク」



100%リサイクル素材で  
環境負荷低減に貢献！

太陽光発電システム事業



再生可能エネルギー  
として電力を創出！



高速シートシャッター  
「大間迅」

高速開閉で  
空調効果を保持！



外付けブラインド  
「マドマスターソラル」

通風採光機能で室内を  
効果的な温度調節！

住宅用室内階段  
「BX Modern Stairs」



ZEHに対応した高断熱住宅の  
吹き抜けのある空間に提案！

遮熱商品

(BXテンパル&文化シャッターサービスとの協業)



日よけ商品  
「オーニング」



工場

屋内の温度上昇を抑制して  
省エネ&働く環境を改善！

#### 防災

浸水対策商品



建物への浸水被害を  
軽減！

大規模震災  
対策商品

大規模震災時  
でも機能する  
ドア&間仕切！



風災害対策商品

大型台風対策  
として耐風圧等級  
をアップ！



## 参考資料

---



- 社 是 「誠実 努力 奉仕」
- 経営理念 「私たちは、常にお客様の立場に立って行動します」  
「私たちは、優れた品質で社会の発展に貢献します」  
「私たちは、積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び連結子会社34社(2023年9月末現在)
- 事 業 シャッター事業、建材関連製品事業、サービス事業、  
リフォーム事業、その他事業
- 拠 点 332営業拠点 131サービス拠点 38工場(2023年9月末現在)
- 従業員数 5,243名(2023年9月末現在)

## 【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 小倉 博之  
設 立 1955年(昭和30年)4月18日  
資本金 15,051百万円  
本 社 東京都文京区西片1-17-3

## シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

**BX新生精機(株)**  
BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.

「オーニング」製造・販売

**BXテンパール(株)**

「シャッター」製造・販売

**BX沖縄文化シャッター(株)**

「シャッター」販売

**文化シャッター秋田販売(株)**  
**文化シャッター高岡販売(株)**  
(※2)

※1 関連会社で持分法適用会社  
※2 関連会社で持分法非適用会社

## 建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

**BX文化パネル(株)**

「ドア」製造

**BXケンセイ(株)**  
**BX鐵矢(株)**  
**BX東北鐵矢(株)**  
**BX朝日建材(株)**  
**BXルーテス(株)**

「建築金物」製造・販売

**BXカネシン(株)**

「ドア」「スライディングウォール」  
「注文家具」製造・販売

**BXティアール(株)**

「ステンレス建材」製造・販売

**BX紅雲(株)**

「建築材料」製造・販売

**BX西山鉄網(株)**

「環境建材(再生複合材)」製造・販売

**(株)エコウッド**

## サービス事業

「シャッター・ドア等の修理・点検」

**文化シャッターサービス(株)**

## リフォーム事業

「住宅リフォームの設計・施工・請負」

**BXゆとりリフォーム(株)**

## その他事業

「損害保険代理業」

**BXあいわ(株)**

「建築構造設計」

**BX TOSHO(株)**

## 海外事業展開

### <オセアニア・オーストラリア>

「ガレージドア」「シャッター」製造・販売・  
施工・アフターメンテナンス

**BX BUNKA AUSTRALIA PTY LTD**  
(事業会社8社)

### <オセアニア・ニュージーランド>

「ガレージドア」「シャッター」製造・販売

**BX BUNKA NEW ZEALAND LIMITED**  
(事業会社4社)

### <ASEAN・ベトナム>

「シャッター」「ドア」「オーニング」製造・販売

**BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.**

「電動開閉機」製造・販売

**BX SHINSEI VIETNAM Co.,Ltd.**

「樹脂サッシ」「アルミサッシ」製造・販売

**EUROWINDOW., JSC (※1)**

## その他

「ビル用サッシ他」製造・販売

**不二サッシ(株)グループ (※1)**

# 連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

	2023年3月期		2024年3月期上期		増減	
		構成比		構成比		前期末比
<b>流動資産</b>	<b>107,629</b>	<b>60.7</b>	<b>112,130</b>	<b>57.4</b>	<b>4,501</b>	<b>104.2</b>
現金・預金	31,405	17.7	34,253	17.5	2,848	109.1
受取手形・売掛金・契約資産	53,558	30.2	49,550	25.4	△ 4,008	92.5
棚卸資産	19,075	10.8	24,730	12.7	5,655	129.6
その他	3,591	2.0	3,597	1.8	6	100.2
<b>固定資産</b>	<b>69,616</b>	<b>39.3</b>	<b>83,062</b>	<b>42.6</b>	<b>13,446</b>	<b>119.3</b>
土地	12,616	7.1	13,116	6.7	500	104.0
投資有価証券	16,117	9.1	17,783	9.1	1,666	110.3
その他の投資・資産	2,544	1.5	2,404	1.3	△ 140	94.5
その他	38,339	21.6	49,759	25.5	11,420	129.8
<b>資産合計</b>	<b>177,246</b>	<b>100.0</b>	<b>195,193</b>	<b>100.0</b>	<b>17,947</b>	<b>110.1</b>
<b>流動負債</b>	<b>71,739</b>	<b>40.5</b>	<b>74,153</b>	<b>38.0</b>	<b>2,414</b>	<b>103.4</b>
支払手形・買掛金	40,042	22.6	36,297	18.6	△ 3,745	90.6
短期借入金	1,498	0.9	15,389	7.9	13,891	—
その他	30,199	17.0	22,467	11.5	△ 7,732	74.4
<b>固定負債</b>	<b>22,730</b>	<b>12.8</b>	<b>25,363</b>	<b>13.0</b>	<b>2,633</b>	<b>111.6</b>
長期借入金	24	0.0	17	0.0	△ 7	70.8
退職給付に係る負債	17,744	10.0	18,178	9.3	434	102.4
その他	4,962	2.8	7,168	3.7	2,206	144.5
<b>負債合計</b>	<b>94,469</b>	<b>53.3</b>	<b>99,517</b>	<b>51.0</b>	<b>5,048</b>	<b>105.3</b>
<b>純資産合計</b>	<b>82,776</b>	<b>46.7</b>	<b>95,675</b>	<b>49.0</b>	<b>12,899</b>	<b>115.6</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>177,246</b>	<b>100.0</b>	<b>195,193</b>	<b>100.0</b>	<b>17,947</b>	<b>110.1</b>

1株当たり純資産  
 期末株価  
 PBR(株価純資産倍率)

1,348円39銭  
 1,106円  
 0.82

1,343円06銭  
 1,106円  
 0.82

# 連結キャッシュフロー計算書

(単位:百万円)

	2023年3月期上期	2024年3月期上期	増減
<b>1. 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>3,117</b>	<b>3,392</b>	<b>275</b>
税金等調整前当期純利益	3,177	5,003	1,826
減価償却費	1,939	2,169	230
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	5,667	4,901	△ 766
仕入債務の増減額(△は減少)	817	△ 4,239	△ 5,056
棚卸資産の増減額(△は増加)	△ 5,492	△ 4,726	766
法人税等の支払額	△ 1,955	△ 2,035	△ 80
その他	△ 1,036	2,319	3,355
<b>2. 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 1,185</b>	<b>△ 12,230</b>	<b>△ 11,045</b>
投資有価証券の売却による収入	465	86	△ 379
投資有価証券の取得による支出	△ 12	△ 11	1
有形固定資産の売却による収入	7	6	△ 1
有形固定資産の取得による支出	△ 1,406	△ 2,395	△ 989
無形固定資産の取得による支出	△ 261	△ 429	△ 168
その他	22	△ 9,487	△ 9,509
<b>3. 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△ 3,719</b>	<b>11,931</b>	<b>15,650</b>
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	13,889	13,889
長期借入金の返済による支出	△ 20	△ 5	15
配当金の支払額	△ 1,341	△ 1,292	49
その他	△ 2,358	△ 661	1,697
<b>4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)</b>	<b>△ 1,728</b>	<b>2,814</b>	<b>4,542</b>
<b>5. 現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>35,966</b>	<b>31,027</b>	<b>△ 4,939</b>
<b>6. 現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>34,237</b>	<b>33,842</b>	<b>△ 395</b>

当社の保有する政策保有株式は、既に中長期にわたって保有している銘柄で、毎年、個別銘柄毎に配当金・関連取引利益等の関連収益が当社資本コストに見合っているかを検証した上で、保有の適否を判断しております。

保有の合理性が認められなくなると判断される銘柄については売却を推し進め、保有株式の縮減を図る方針としております。なお、2024年3月期第2四半期における政策保有株式の純資産比率は8.6%となっております。

また、売却した原資は、TCFD対応をはじめとする株式新市場移行に向けた環境対策投資や成長投資に充当することで業績拡大をはかり、株主の皆様にも適正に還元していく考えです。

	2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				
	上期		通期		上期		通期		上期		通期		
	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率	実績	伸率	予想	伸率	
民間企業設備投資 (兆円)	41.4	104.0%	87.6	102.3%	42.4	102.4%	90.3	103.0%	<b>42.5</b>	100.3%	<b>91.2</b>	100.9%	
新設住宅着工戸数 (万戸)	44.5	107.6%	86.5	106.6%	44.2	99.3%	86.0	99.4%	<b>41.5</b>	93.8%	<b>84.0</b>	97.7%	
民間非住宅着工床面積 (万㎡)	2,125	103.6%	4,373	109.3%	2,439	114.7%	4,329	99.0%	<b>1,986</b>	81.4%	<b>4,015</b>	92.7%	
	倉庫 (万㎡)	601	97.8%	1,324	112.8%	775	129.0%	1,273	96.1%	<b>628</b>	81.0%	<b>1,158</b>	91.0%
	工場 (万㎡)	347	110.6%	708	121.5%	491	141.1%	868	122.6%	<b>363</b>	74.0%	<b>750</b>	86.4%
	事務所 (万㎡)	313	128.7%	679	134.6%	297	94.7%	543	79.9%	<b>227</b>	76.5%	<b>522</b>	96.2%
	医療・福祉 (万㎡)	218	97.6%	435	99.9%	220	101.0%	432	99.4%	<b>192</b>	87.2%	<b>432</b>	100.0%
	店舗 (万㎡)	213	119.6%	417	103.4%	219	102.7%	424	101.6%	<b>184</b>	84.0%	<b>401</b>	94.5%

2024年3月期の民間企業設備投資は速報値  
 新設住宅着工戸数と民間非住宅着工床面積の予想は、シンクタンク予測平均から当社算出

	2023年3月期		2024年3月期
	上期	通期	上期
住宅向け	42.4%	40.4%	42.5%
非住宅向け	57.6%	59.6%	57.5%

## ポイント説明

世界経済については、ロシア・ウクライナ問題の長期化や中東情勢の不安定化に加えて、世界的な金融引き締めによる海外景気の下振れが国内経済を下押しするリスクが予想される。

当社グループを取り巻く事業環境については、経済活動の正常化や賃上げ等による雇用・所得改善等により、景気は緩やかに回復基調が続いているものの、鋼材をはじめとした原材料価格・エネルギー価格の高止まりや人手不足による供給面での制約など、依然として不透明な状況が続くと予想。

未来を切り開く「快適環境ソリューショングループ」として、2021年5月にBXグループ「2050年脱炭素宣言」を行い、2021年度より本格的に脱炭素活動の取り組みをスタートしました。私たちは、人びとが安心・安全に暮らせる「快適環境」を追求し、持続可能な地球環境の保全に貢献します。

## 中期経営計画期間の「BXグループ脱炭素活動」

「2050年脱炭素宣言」  
(2021年5月)

脱炭素(SBT対応)WG

- ・Scope1,2の削減施策の検討
- ・Scope3の全体像の把握
- ・中長期目標の設定

環境ビジョンWG

- ・環境長期ビジョンの設定

TCFD対応WG

- ・TCFD賛同に向けた手法の検討

「TCFD賛同表明」  
(2021年10月)

WGの機能を  
「地球と共に  
委員会」に移管

「環境ビジョン策定」  
(2022年5月)



CDP回答「C評価」  
(2022年12月)



TCFD開示開始  
(有価証券報告書)



<目標>  
SBT認定取得

<SBT水準に基づく削減目標>  
(1.5°C水準)

Scope1(燃料燃焼)  
Scope2(電気使用)  
2019年度比  
**46.2%削減**

2050年  
事業活動における  
実質排出量ゼロ  
を実現

2021年

2022年

2023年

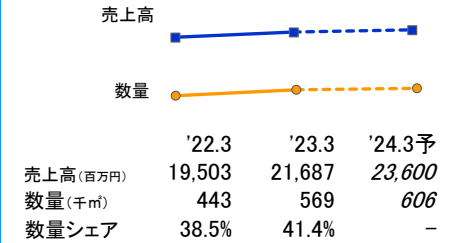
2030年

2050年

- ・**SBT**：「Science Based Targets」パリ協定が求める水準と整合した、5年～15年先を目標年として企業が設定する温室効果ガス排出削減目標。
- ・**Scope1**：自社の事業活動における燃料使用による直接排出。具体的にはガソリン、灯油、軽油、液化石油ガス(LPG)など。
- ・**Scope2**：自社の事業活動による排出で、他社で生産されたエネルギーの使用に伴う間接排出。すなわち事業活動における電気使用によるCO<sub>2</sub>排出のこと。
- ・**Scope3**：Scope1,2以外の事業者の活動に関連する間接的な排出のこと。
- ・**TCFD**：気候変動を考慮した経営・財務計画の情報開示を促すために設立された「気候変動財務情報開示タスクフォース」の略称。TCFD賛同とはTCFDへ賛同表明をすること。
- ・**CDP**：世界の機関投資家が連携して、企業に対して環境関連の情報開示を求めるプロジェクト。



## <重量シャッター>

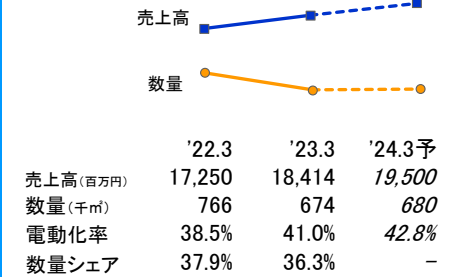


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比21.1%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比8.8%増の236億円を計画。

## <軽量シャッター>

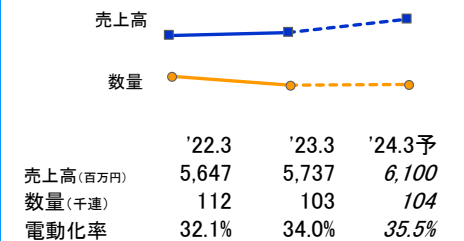


※数量シェアは、(社)日本シャッター・ドア協会の生産数量をもとに算出



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比6.4%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比5.9%増の195億円を計画。

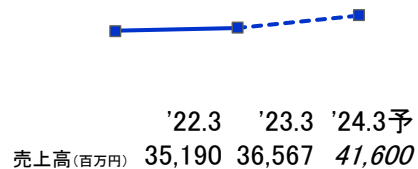
## <窓シャッター>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比7.5%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比6.3%増の61億円を計画。

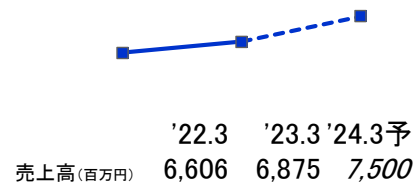


## <ドア>



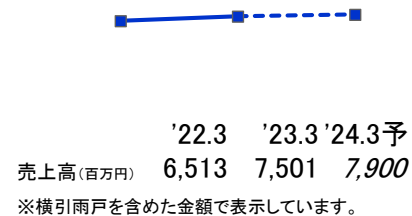
- ◆ 上期の売上高は、前年同期比21.3%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比13.8%増の416億円を計画。

## <パーティション>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比8.2%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比9.1%増の75億円を計画。

## <エクステリア>



- ◆ 上期の売上高は、前年同期比7.3%増。
- ◆ 24.3期の売上高は、前期比5.3%増の79億円を計画。

## 問い合わせ先

文化シャッター株式会社 広報室

E-mail [bxinfo@mail.bunka-s.co.jp](mailto:bxinfo@mail.bunka-s.co.jp)

<https://www.bunka-s.co.jp/>